



是永 宙 議員

ひとり親世帯へのサポートと居住支援について

問

支援が必要と考えられるが、困り感のないひとり親世帯への支援は

答

研修や情報発信を行い、必要な支援につなげるよう努めます

答

子ども未来部長

現在、高島市には低額な家賃で賃貸する市営住宅が数多く整備されており、現時点では民間住宅への入居に対する補助制度を設けることは考えていません。

問

市営住宅に空き物件があるのであれば、ひとり親世帯への住宅支援のために随時募集の地域枠を広げられないか。

答

都市整備部長

今後、空き状況をみながら、利用が少なくなれば、その時には随時募集に切り替えることも考えられます。

問

ひとり親世帯とつながる目的で、※フードパントリーなどに出張相談窓口を設けられないか。

答

子ども未来部長

フードパントリーに関わっておられる方が、相談機関連につなぐ機会を増やせるよう工夫します。

※フードパントリー

ひとり親家庭などが食に困ったときに無償で食の支援が受けられる活動

問

特に母子世帯については「居住の貧困」ともいえる状況があるが、家賃低廉化補助事業に取り組まないか。

答

子ども未来部長

まちづくりや地域コミュニティの再構築という幅広い課題につながることから、他の自治体の先進事例も参考にしながら、調査研究します。

問

ひとり親世帯への支援制度の情報適切に届いていない課題があるが、窓口での周知方法は。

答

子ども未来部長

離婚に関する相談対応時や離婚届の手続き時、ひとり親世帯が転入された場合に各種制度について丁寧に説明をしており、担当職員が窓口に出向いたり、ご希望によっては担当課までお越しいただき説明しています。

問

客観的に見て支援が必要と考えられるが困り感のないご家族への支援は。

答

子ども未来部長

支援者が困っていることにいち早く気づき、早期に支援につなげられるよう、支援関係者が参加する「子どもの貧困対策情報交換会」を開催しました。今後も研修や情報発信を行い、必要な支援につなげるよう努めます。

